

いのちの言の葉2010

富山県教育委員会 平成22年度いのちの教育総合支援事業

「命の尊厳」(道徳の時間)

富山市立新庄北小学校 6学年児童
平成22年6月17日実施

【いのちの先生】

内藤 毅郎先生
・医師

【授業の概要】

- (1) いのちを守るために … 県立中央病院の救命救急センターの医師や看護師の仕事の話
- (2) いのちの尊厳 … 中央病院の中にある終末期医療の場としてのホスピスの話
- (3) つながるいのち … アメリカの病院で内藤医師が関わった腎臓移植の話



いのちの授業を受けて

いのちの大切さを改めて感じました。病院のことも聞いたし、普段見られない場所も知りました。また、いのちは一つしかなくて、とても大切なことで、自分で守らなければいけないものであることがよく分かりました。

また、いのちはみんなとつながっているんだなあと思いました。だから、これからもいのちを大切にしたいです。

いのちの授業を受けて

私は、うまくいかないことがあるとよく「死にたい」とか「もう、ここから消えたい」などと、今思えばくだらないことを考えることがありました。自分より苦しい思いをしている人がもっとたくさんいると、今日の授業を感じました。

いのちの大切さを考えると、軽い気持ちで「死ぬ」とか言つてはいけないと思いました。これからは、自分のいのちを大切にしていきたいと思います。

いのちのメッセージカード

お母さんへ

いのちの授業をうけて、自分

のいのちの大切さや、ささいな

言葉でも人が傷ついてしまうこ

となど、大切なことをたくさん

教わりました。

これからは、自分のことだけ

でなく、たとえ知らない人のこ

とでも、人のいのち

を大切にしていき

たいです。

イラスト「心のノート」より



Sちゃん、葉書ありがとう。

今日は大切な勉強ができたね。

ささいな言葉でも、相手が傷つく

ことや、いのちの大切なことなど

とても大切なことを学びましたね。

人はそれらのこととすぐに忘れ

てしまいます。でも、今日学んだ

ことはいつまでも心

に残しておいてください。

さい。 母より

